

業 務 の 名 称	膜曝気型バイオフィルム法(MABR)を用いた排水処理の省エネ、 N ₂ O発生抑制技術に関する研究
業 務 概 要	本委託研究は活性汚泥併用型生物膜処理システムに係るもので、同システムはMABR膜モジュールを用いることにより従来の活性汚泥法に比べて曝気風量やN₂Oの発生量を抑制しながら有機物や窒素などを処理するものである。 具体的にはパイロットプラントを用いた実証実験により、MABRの設計値を確認し、本技術のCO₂削減効果、普及可能性を評価し導入可能性について調査するものである。
契約担当官等の氏名並びに その所属する部局の名称及び 所 在 地	支出負担行為担当官 国土技術政策総合研究所長 佐々木 隆 茨城県つくば市旭1番地
契 約 年 月 日	令和6年6月18日
契 約 業 者 名	三菱ケミカル(株)・(株)クボタ・(大)東京農工大学共同研究体
契 約 業 者 の 住 所	東京都千代田区丸の内一丁目1番1号 パレスビル
契 約 金 額 (税 込 み)	¥39,963,000-
予 定 価 格 (税 込 み)	¥39,996,000-
随意契約によることとした理由	本委託研究については、国土交通省水管理・国土保全局により設置された学識経験者等からなる下水道革新的技術実証事業評価委員会において、あらかじめ研究開発課題の公募を行い、同会議において審査基準にもとづき審査された結果、令和5年2月、本研究課題及び委託先(三菱ケミカル(株)・(株)クボタ・(大)東京農工大学共同研究体)が選定されたものであり、令和6年2月に同会議で中間評価が行われ、研究の継続が妥当であると評価されたものである。なお、令和5年度、令和6年度の選定結果等については、国土交通省ホームページ等で詳細に公表されている。 以上のことから、会計法第29条の3第4項及び予算決算及び会計令第102条の4第3号の規定により、随意契約するものである。
業 務 場 所	茨城県つくば市旭1番地
業 種 区 分	-
履 行 期 間 (自)	令和6年6月19日
履 行 期 間 (至)	令和7年3月31日
落 札 率	-
再 就 職 の 役 員 の 数	-
備 考	